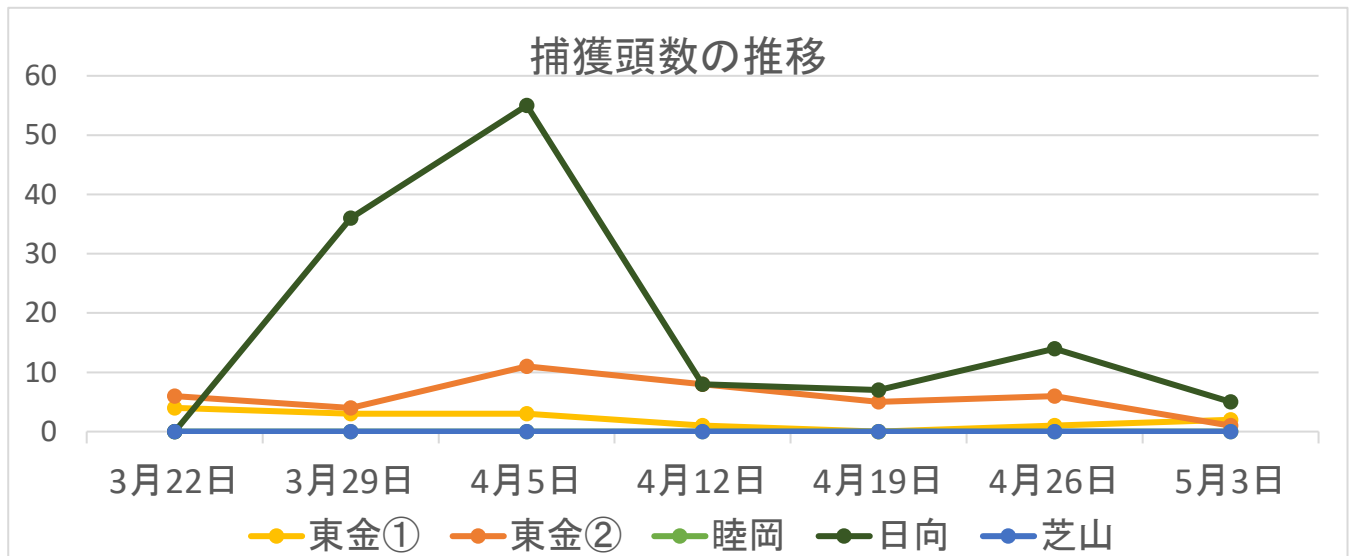


令和3年度 春人参 ヒョウタンゾウムシ発生状況【第7報】

発行: 令和3年5月7日
JA山武郡市 営農部 営農振興課

	捕獲頭数(匹)									
	3月22日	3月29日	4月5日	4月12日	4月19日	4月26日	5月3日	5月10日	5月17日	5月24日
東金①	4	3	3	1	0	1	2	—	—	—
東金②	6	4	11	8	5	6	1	—	—	—
睦岡	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—
日向	0	36	55	8	7	14	5	—	—	—
芝山	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—
合計	10	43	69	17	12	21	8			
前年 同期(匹)	+8	+37	+62	+12	+7	+14	+3			



第7回目の調査では、成虫の捕獲数は減少しました。圃場に侵入した成虫が土壌中で産卵し、羽化した幼虫がニンジンの根部を食害する恐れがあります。例年、被害が多発する圃場では、下記薬剤で防除を行いましょう。

【ニンジンのヒョウタンゾウムシ防除薬剤】

コテツフロアブル 2000倍

収穫前日まで 2回以内

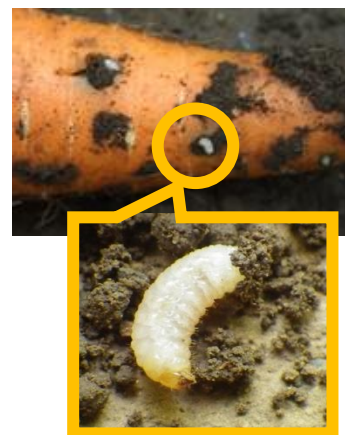
※成虫にかかるとように散布

スタークル顆粒水溶剤

400倍 (400ml/m²)

株元灌注 収穫21日前まで 1回

※土壌中の成虫・幼虫防除。収穫前日数に注意!!



ヒョウタンゾウムシ幼虫
(体長5~8mm)